

創刊一〇〇年を記念して、毎月それにちなんで記事を載せてきた一年も本号で終わりを迎えました。本誌

にゆかりのある多くの方々にいただいた原稿から、改めてこれまでの経緯を知ることができ、また時代の推移も感じた一年でした。

この巻を閉じる本号では、一〇〇巻にちなんだ文章の中で「本誌が一年一年と少しずつ保育者には何の役にも立たないものになってしま……」という厳しい言葉を頂戴しました。保育者を指導する。本誌がかつて大きな役割を背負っていたことを改めて思われます。今の本誌はそのような役割を担ってはおりませんが、「保育者に考えるチャンスを与える」ことと「現場の保育者と同じに幼児を常にもつめ、これからもみつめていく」ことを肝に銘じて、

保育者に伴走する存在でありたいと考えています。

本号にはまた、保育者が自分の保育を振り返り「自分と向き合う時間を重ねて、ようやく原稿が書き上がる」プロセスが書かれています。

「書く」ことは、消化しきれずにとまっていたものを反芻し、きちんと消化しなおすことであつたのだと、いまあらためて思う。消化したものとは「栄養となる」という一文は、保育者のひとつの学びの在り方を示唆し、また他の人が書いた文章を読んで自分の保育を考えることもこの延長上にあるのだと思います。

この小さな雑誌にできることは何か。課題が山積みになされた一年でした。第一〇〇巻は幕を閉じますが、これからも課題は追求し続けていきます。

(田代 和美)

## 幼児の教育

第一〇〇巻 第十二号

(二〇〇一年十二月号)

定価五五〇円(本体五二四円)

発行 平成十三年十二月一日

編集兼発行人 田代 和美

発行所 日本幼稚園協会

〒112-8610 東京都文京区大塚二丁目一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

印刷所 図書印刷株式会社

〒108-8620 東京都港区三田五丁目二丁目一

発売所 株式会社 フレーベル館

〒113-8611 東京都文京区本駒込

六一四一九

〒〇三三三三九五六一六〇三(営業)

〒〇三三三三九五六〇四(編集)

振替 〇〇一九〇一〇一〇一九六四〇

☆ 本誌ご購入のご注文は発売所「フレーベル館」をお願いいたします。

☆ 万一、乱丁・落丁などがございましたら、おとりかえいたします。